

情 報 公 開 文 書

研究の名称	第3世代 HES(ヘス)130/0.4/9 ポルベン輸液 6%の術中使用が術後出血量に及ぼす影響の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	堀川 英世
研究の概要	<p>【研究対象者】 2016年1月から2019年8月までに当院で側弯症に対し脊椎固定術を実施した症例</p> <p>【研究の目的・意義】 当院の側弯症患者の全身麻酔下脊椎固定術において、術中 HES 製剤の使用が術後の出血に及ぼす影響について検討する。</p> <p>【研究の方法】 2016年1月から2019年8月までに当院で側弯症に対し脊椎固定術を実施した症例を電子麻酔記録、電子カルテをもとに抽出し、術中の HES 使用群と非使用群とで術後の出血量について後方視的に検討する。主要評価項目は術後 24 時間の出血量、副次的評価項目は年齢、性別、身長、体重、手術時間、麻酔時間、術中出血量、術中輸血量、術中輸液量、術中尿量、術後の血液検査値 (Hb、Ht、WBC、PLT、AST、ALT、BUN、Cre) とする。。</p> <p>【研究期間】 承認日から 2021 年 12 月 31 日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会及び医学雑誌での発表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	試料なし。研究に用いる情報は電子麻酔記録、電子カルテから抽出する。項目としては術後の出血量、年齢、性別、身長、体重、手術時間、麻酔時間、術中出血量、術中輸血量、術中尿量、手術前後の血液検査値 (Hb、Ht、WBC、PLT、AST、ALT、BUN、Cre)、麻酔方法である。(他機関への提供はなし)
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	当施設のみで使用する。
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	堀川 英世
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail ricacoco@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 麻酔科 堀川 英世</p>